

交換留学プログラム 帰国アンケート

作成者情報

・ 氏名	H. A.	
・ 学部・学科	工学部 機械機能工学科	
・ 性別	女性	
・ 学年（参加開始時）	学部4年生	
・ 後輩からの質問メール可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否
・ イニシャルでの記載を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない

プログラム基本情報

・ 参加プログラム種別	交換留学（授業履修型）	・ 国名・地域名	アメリカ合衆国
・ プログラム開始日	2019/8/19	・ プログラム終了日	2019/12/13
・ このプログラムに参加した理由、きっかけ	語学力向上、専門科目を英語を通じて学ぶ経験、異文化交流。留学先を選んだ理由は、以前留学したことなるカリフォルニア州でまた学びたいと感じたため。		

留学先情報

・ 国名・大学・機関・企業名	アメリカ合衆国	カリフォルニア州立理工学大学ポモナ校
・ 主な履修科目もしくは研究内容	英語（コミュニケーションから英語論文などの学術的な文章の書き方まで）、機械工学（主に熱力学）	

滞在先情報

・ 滞在先の種類	ホームステイ	・ 宿泊先手配方法	自分で探す
・ 空港⇄留学先機関の交通手段	バス（高速バス込み）		
・ 通学／通勤方法	バス（定期月額40ドル、全路線乗り放題）		
・ 滞在先の様子	ホームステイの家は日本のエージェントを通して行ったためとても安心できる環境だった。ホストファミリーは現地の人でマザーは中国人、ルームメイトに中国人の高校生1人。週末は一緒に出掛け、週の半分ほどは一緒にジムに行ったりもした。食事にも気にかけてくれたり本当の家族のようなとても居心地の良い素敵な家族だった。		

留学についての感想

点数により英語の授業のみか専門科目の同時履修可能かが決定。TOEFLなどの指定された試験を受験し基準を満たすかプログラム開始時のTOEICに似たテストにてクラス分けされる。レベルによってコマ数開講時間も異なり、基本的にレベルが上がるほど長くなる。主に学術的な論文の書き方、論文の読み方に焦点が当たり専門科目の授業との同時並行はとても大変だった。出席率やテストの点数など意外とシビアな印象もあった。専門科目に関しては普通に現地の学生の授業に参加できる。私は実際の学年より1つ下を受講したが内容的には初めてみるものも少なくなかった。オンラインで細かくシラバスのような授業の予定が確認できるので毎度確認し予習復習に活用した。

参加を検討している方へのアドバイス

どこの大学に行ってもどの国に行っても同じだとは思いますがまずは自学自習がいかにできるかだと思います。母国語以外で勉強することは私は想像以上に大変でストレスもかかりました。ですがある程度続けたり生活になれると要領が分かる時が必ずくると思います。そしてその感覚を忘れずにやり続けるのが必要だと感じています。自分から学ぼうと挑戦すればたくさんチャンスがあるのがアメリカの醍醐味。専門科目を深く学ぶにはやはり語学の習得は必要不可欠。なので現地の人とも交流の機会が多いことを利用して現地の友人を作ることが語学力を伸ばす近道であると感じます。特に部活動に参加してみることをお勧めします。私は conversation clubに参加し現地の友人を作りホームパーティーに誘われたり週末に出かけたりしました。誰もが輪に入ったりきっかけを作るのが難しかったり勇気が出なかったりするものだと思います。もちろん私もそうでした。ですが少なくともお国柄もありとても馴染みやすいところです。はじめの一歩を踏み出す感覚が身につくと思います。

写真4枚(留学/研修先、滞在先、その他参加プログラムの様子がわかるもの)

写真を4枚を貼り付け、それぞれの写真に説明分を加えて下さい。写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

写真①



説明文

大学内で様々なイベントが毎週のように開催されているので参加するのがおススメです。交流の場はやはり広げた方が楽しかったです！（写真は学生が一から教えてくれる絵画教室に参加した時のです）

写真②



説明文

ロサンゼルス滞在中に何度か訪れたグリフィス天文台です。大都会と自然の融合。昼夜まるで違う景色が広がっていました。

写真③



説明文

スペースシャトルエンデバーの実機。滞在中に多くの博物館や大学に足を運びました。学びが誰にでも開かれている解放感と自由さを感じました。

写真④



説明文

帰国前にニューヨークを経由しました。ニューヨークからはボストンやワシントンにも車で行くことが出来ます。学びは様々なものから受けることが出来ると思うので機会を逃さないように私自身もしたいです。（写真はワシントンのリンカーン記念堂）

必要な事前準備（生活面・留学面）

- ・ VISA申請時に必要な書類
- ・ 入居時に必要だった書類
- ・ その他必要な事前準備

残高証明書 証明写真 その他 ()

健康診断証明書 その他 ()

ホームステイの受け入れ先探し、受け入れ先大学への連絡

留学中の費用（概算）

<支出>

内訳	金額（日本円）	備考
往復航空券代+ビザ申請料	30万弱	航空券片道約10万×2（経由あり）510ドル（ビザ申請一律）
保険料	約7万円	大学にて申し込み，別途現地でも加入必須
授業料/学期	60～70万円	教科書なども込み
通学・通勤費用/月	定期月額40ドル	全路線乗り放題
住居費/月	19万円	1日2食、土日祝日込み
食費/月	1～2万円	主に平日昼
交際費/月	約5千～1万円	主に週末は家族と過ごす
その他費用		

<奨学金情報>

奨学金名	金額
芝浦工業大学 海外留学奨学金	6万円/月

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。